

テーマ

# ふるさとと再発見の旅

～ふるさとを世界へ発信～

事業実施地区（中学校区名）	津和野町立津和野中学校区
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	津和野町立津和野中央公民館 津和野町立津和野公民館 津和野町立木部公民館 津和野町立畑迫公民館 津和野町立小川公民館

## テーマの背景

昨年度、県委託事業「みんなのまちづくりプロジェクト」に取り組み、「つわの発 体験・感動を通して思いはふるさとへ～9年間+αを見通したふるさと教育の推進」という研究テーマで津和野中学校2年生が観光マップを作製した。また、平成27年度に津和野町は日本遺産認定を受け、外国人観光客も増加傾向にあることから、当初作製したマップを活用し、ステップアップした英訳版観光マップの作製に取り組む。そして、そのマップを活用して中学生の地域参画を目的とする。

## 実際の取組

### ふるさとの魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を設定

事業名：英訳版観光マップ作成における事前学習

#### <取組の概要>

町営英語塾 HAN-KOH のスタッフで通訳案内士の資格を持つ方を講師に迎え、外国人目線での津和野の見どころを学ぶ。また、津和野観光ガイドを務める地域の方にもサポーターとして関わっていただき、ふるさと津和野を学び、ふるさとを知る時間を設け、実際英訳作業に取り組む。

#### <成果と課題>

外国人目線という視点において、ふるさと津和野を客観的に調べ、また、英訳することで教科との関連性を図るとともに英語への興味・関心が高まり、同時にふるさとへの愛着が更に深まった。また、地域の方にもサポーターとして関わって頂いたことで、子どもたちへの思いや願いが言葉になり、子どもたちが地域で参画していく意味が明確になった。

ふるさとの「ひと・もの・こと」を次世代に伝え、守っていく活動の実施

事業名：留学生との交流と英訳版観光マップ作り

＜取組の概要＞

ふるさと津和野の紹介や名所の紹介等を事前学習において英訳し、ハワイ「ダミエンメモリアル高校」から来町した留学生と実際に町歩きを行い英語で案内した。その後、学校へ戻り中学生が英訳した紹介を留学生と一緒に加筆・訂正に取り組んだ。

またこの日、子ども達のモチベーションアップ、地域のために活動している中学生を地域内へアウトプットするために活動用のお揃いのTシャツを着用して活動した。



←活動用Tシャツ

＜成果と課題＞

子どもたちは最初は戸惑いの中でのスタートであったが、時間を重ねるごとに子どもたちの笑顔が見えるようになった。このことは、地域で活動しているという主体性を生んだと言える。また、普段の授業以外で英語に触れることにより子どもたちに大きな刺激があったようで、「英語が好きになった」と言う生徒もいた。(教科との関連性)

課題としては、今回作製した英訳版観光マップをベースに来年度見直しを行い、中学生らしい英訳版観光マップを完成させ、ふるさと津和野を世界へ伝えるものにする。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

- 地域ぐるみで子どもたちを支える機運の醸成（地域学校協働活動）
- 公民館としての役割である「つなぐ」「つどう」「まなぶ」を効果的に用いて、留学生とのつながりの創出、地域住民がつどう場の創出、中学生とともに地域住民が学べる場の創出を仕掛けたこと

今後の展望

来年度、留学生が津和野に来町するという情報もあるため、今年度作製した英訳版観光マップをさらにステップアップした確定版に仕上げる。また、そのマップを用いて実際に地域の中で活動できる子どもたちを育む。